

NEWS RELEASE

フジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ
デンマーク拠点にオフサイト PPA（電力購入契約）を導入
世界全 7 製造拠点の使用電力を再生可能エネルギー化

2024 年 2 月 29 日
FUJIFILM Diosynth Biotechnologies

富士フィルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）の子会社で、バイオ医薬品の開発・製造受託会社（CDMO^{※1}）であるフジフィルム・ダイオシンス・バイオテクノロジーズ（以下、FDB）は、このたび、デンマーク拠点においてオフサイト PPA^{※2}（Power Purchase Agreement：電力購入契約）を導入します。本導入に加え、富士フィルムグループが進める北米エリア全拠点の再エネ化により、FDB 世界全 7 製造拠点^{※3}においてすべての使用電力を実質的に再生可能エネルギー（再エネ）に転換します。

FDB は、北欧の再生可能エネルギー企業である Better Energy^{ベター エナジー}社より、デンマーク拠点のあるヒルロッド市から 80km 離れたソロー市に建設予定の太陽光発電設備^{※4}から発電される追加性^{※5}のある再エネ電力を 10 年にわたり購入します。これにより、現在新設中の 20,000 リットル培養タンク 6 基稼働時の使用電力も含む、デンマーク拠点で使用する全電力にあたる約 4 万 MWh/年の再エネ化を 2025 年 7 月に実現します。

富士フィルムホールディングスは、2040 年度までに自社が使用するエネルギー起因の CO₂ 排出実質ゼロにすることを目指しています。昨年 11 月には、FDB の北米拠点を含む、富士フィルムグループの北米エリア全拠点の使用電力を、バーチャル PPA を通じて 2025 年後半から実質的に再エネ化することを発表。さらに今回のデンマーク拠点のオフサイト PPA 導入により、FDB は世界全 7 製造拠点において、すべての使用電力を実質的に再生可能エネルギーに転換し、2022 年度 CO₂ 排出量を約 23,000 トン削減します。

富士フィルムホールディングスは、今後も気候変動問題の解決に向けた取り組みを継続し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

- ※1 Contract Development & Manufacturing Organization の略。生産プロセス開発や安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造まで幅広いサービスを製薬企業などに提供する。
- ※2 PPA とは、需要家が発電事業者と締結する長期の電力購入契約。発電事業者が発電設備のメンテナンスなどを行い、需要家は電力料金として毎月固定費を支払う。PPA には、需要家の敷地内に発電設備を設ける「オンサイト PPA」、需要家の敷地外に発電設備を設ける「オフサイト PPA」がある。また「オフサイト PPA」には、設置した発電設備から送電網を介して電力を調達する「フィジカル PPA」、電力の環境価値のみを調達する「バーチャル PPA」がある。今回デンマーク拠点において導入したのは「フィジカル PPA」。
- ※3 英国 1 拠点、北米 5 拠点、デンマーク 1 拠点の合計 7 製造拠点。
- ※4 年間総発電量は 11 万 MWh。
- ※5 企業などが選択したエネルギーの調達方法が新たな投資を促し、再エネ電源を拡大させる効果があること。

(参考) FUJIFILM Diosynth Biotechnologies 概要

FUJIFILM Diosynth Biotechnologies (FDB) は、英国・米国・デンマークに拠点を有し、抗体医薬品や遺伝子組換えタンパク医薬品、遺伝子治療薬、細胞治療薬、ワクチンなどあらゆる種類のバイオ医薬品の開発・製造受託を行っています。30年以上にわたる実績・経験を持ち、業界をリードする独自の高生産性技術「pAVEway™」「Apollo™X」を活用した細胞株開発からプロセス開発、治験薬製造、商業生産まで包括的な受託サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

【報道関係】

富士フイルムホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL 03-6271-2000

【その他】

富士フイルム株式会社 バイオ CDMO 事業部

TEL 03-6271-3025